

廃線区間の貨物ホーム一仏跡

三河広瀬



三河旭



中畑

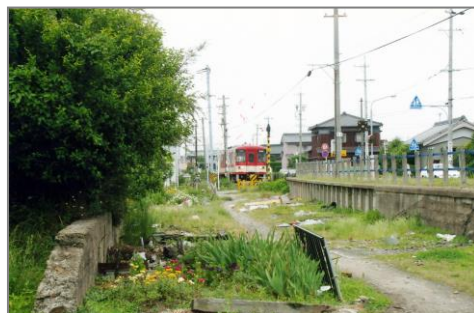


駅前の(株)OTICS（旧・小田井鉄工）が中畑構内跡地を購入し平成17年8月中畑の旅客及び貨物ホームを撤去し、用地を更地にして、本社工場の駐車場を新設したため、鉄道の面影は消滅した。(株)OTICSは、三河平坂2号～3号踏切間の線路用地も購入し、翌年8月、平坂江口工場の駐車場を増設。

三河楠



寺津



西一色



国の登録有形文化財…旧三河広瀬・西中金の駅舎&プラットホーム

旧・三河広瀬の駅舎とプラットホーム

駅舎…昭和2年(1927)

木造平屋建、鉄板葺、建築面積 50 m² 1棟
 登録年月日 平成19年(2007)10月2日
 市中心部から約9km 東北に位置する旧鉄道駅舎。桁行11m、梁間4.4m、切妻造鉄板葺、平入の木造平屋建。東半に開口部を広くとる開放的なつくりの待合室、西半に駅員執務室等をあてる。外装は下見板張で、腰は厚手の目板を打つ独特なつくりとする。

登録の基準…国土の歴史的景観に寄与しているもの

プラットホーム

駅舎より約10m北側に位置する。当初は延長40m、幅2.6m、高さ0.6m規模の東西に長い石造構造物をコンクリートで嵩上げたもので、後に延長80mに拡張され、隣接して流れる矢作川に沿って緩やかに湾曲する平面となる。南北の両側面には花崗岩の布積をあらわす。

登録の基準…国土の歴史的景観に寄与しているもの



旧・西中金の駅舎とプラットホーム

駅舎…昭和5年(1930)

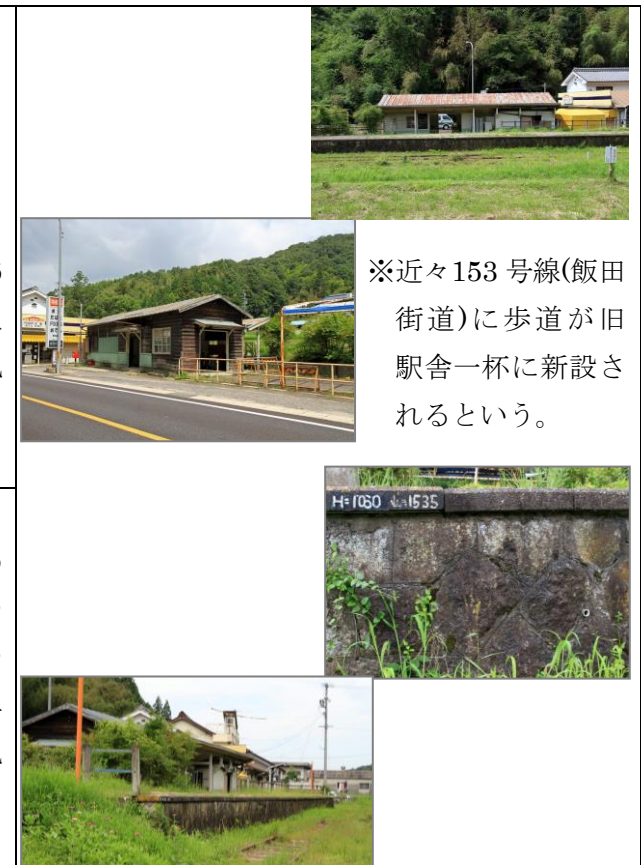
木造平屋建、鉄板葺、建築面積 54 m²、上屋付1棟
 登録年月日 平成19年(2007)10月2日
 市中心部の東北、約10km 東北にある名鉄三河線の旧終着駅。道に南面する桁行14m、梁間3.6m、切妻造鉄板葺の木造平屋建で、ホーム側に上屋を付ける。内部は東半を待合室、西半を駅員執務室等とする。外装は下見板張、腰一部縦板張。

登録の基準…国土の歴史的景観に寄与しているもの

プラットホーム

旧西中金駅舎に接して北側に位置する。延長36m、幅3.7m、高さ1.0mの東西に長い直線状の構造物。花崗岩の谷積で築き、上部には五角形の石材を据えて形状を整える。上屋を付けない簡単なつくりで、駅舎とともに田園に馴染む鉄道景観をつくり出す。

登録の基準…国土の歴史的景観に寄与しているもの



※近々153号線(飯田街道)に歩道が旧駅舎一杯に新設されるという。

豊田新線開通



昭和54年7月29日



新三河鉄道が昭和2年9月11日、挙母町で設立総会を開催。社長に三河鉄道の神谷傳兵衛(2代目)が就任。翌年の12月、挙母～八事間の鉄道敷設免許を取得。昭和16年6月1日、名古屋鉄道と合併。この間、紆余曲折があったが、苦節50年余が過ぎ、やっと陽の目を見た線区である。



昭和61年9月29日「豊田新線」を「豊田線」に路線名改称





さようなら挙母線

昭和48年3月4日廃線

お別れ電車・発車式 昭和48年3月3日 大樹寺発15時17分

「蛍の光」が静かに奏でる 駅長の右手が挙がる 真っ白な手袋が青空に吸い込まれる
車掌の手笛が鳴りドアが閉まる ゆっくりと電車が動き出す 一斉にカメラのシャッター音
大きな喊声があがる 手を振る者 拍手する者 涙する者あり ああ挙母線よ…。





昭和 48 年 3 月 4 日…豊田市駅前で「代替えバス発車式」

拳母線 岩津駅

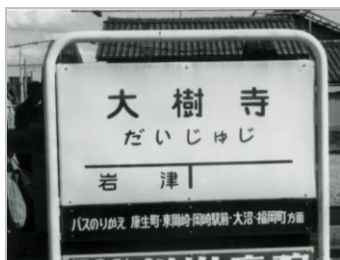
拳母線おわかれ

記念乗車券 記念入場券

速くて安全な **名鉄**

00316

在りし日の 拳母線 (廃線1週間後の写真も)



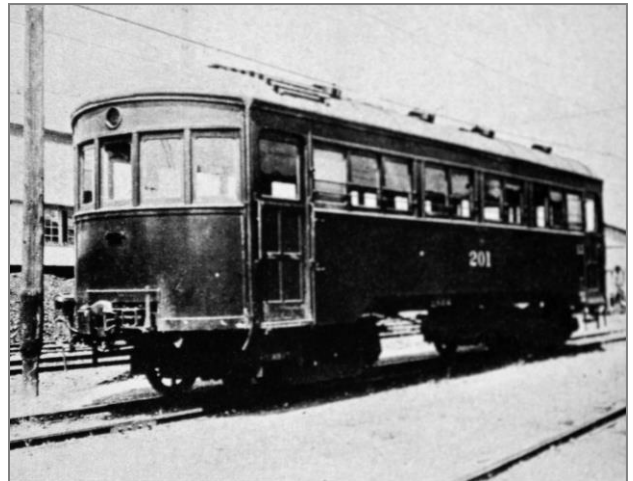
三河鉄道は愛知電気鉄道に対抗するため、名古屋～拳母～岡崎間を結びようと計画。先ず、昭和2年4月16日岡崎電気軌道と合併した線区「通称・郡部線(井田～門立間)」と結ぶため、昭和4年12月18日、上拳母～三河岩脇間を新設、合わせて郡部線の大樹寺まで1500Vに昇圧。上拳母～井田間を岡崎線とし、拳母・(大樹寺乗換え)・岡崎ルートを確立した。また、三河岩脇～門立間を門立線と改めた。一方、名古屋ルート確立のため新三河鉄道に参画(後の豊田線)した。昭和16年6月1日、名古屋鉄道と合併し、岡崎線は昭和23年5月16日、路線名を拳母線と改称。この拳母線も時代の波に勝てず、昭和48年3月4日廃線となった。





私達4人(稲、小野田、成田、新實)は「廃線2週間後(3月17日)」挙母線を今一度脳裏に焼き付けておこうと大樹寺に向かう。上挙母まで11kmをめざしホームに降りた瞬間愕然とした。見渡す限り廃墟と化した挙母線が…。

心に怒涛の如く押し寄せる悲哀。言葉ではとても表現できない。つい叫びたくなる“返してくれ俺たちの挙母線を”と、それを必死に堪える自分との闘い…。 — かきつばた(1973)より抜粋 —



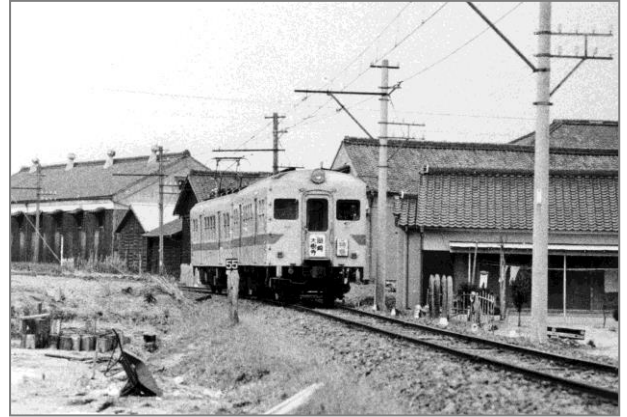
デ200形 大正13年10月 日本車両製

200形は 大正3年10月 日本車両製
定員70(42)

岡崎電気軌道の郡部線(井田～門立間)開業のとき新造した車両。

三河鉄道と合併(昭和2年4月16日)後、同線の昇圧(600V→1500V)により附随車サ2110形に改造された。







岩津駅舎も解体され構内跡は、撤去したレールや枕木の山…昭和 48 年 3 月 17 日

岩津～三河岩臨





上挙母～大樹寺間が開通すると三河岩脇～門立間は門立線となるが岡崎線(挙母線)の盲腸線となり、昭和13年5月1日、休止し、翌年の昭和14年10月3日、門立線は廃止された。

※ 付図2 三河鉄道の路線…144頁参照



ホーム上やホーム下は撤去した枕木で一杯

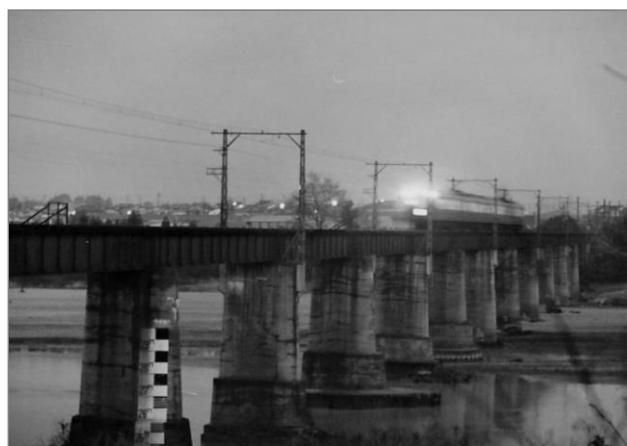
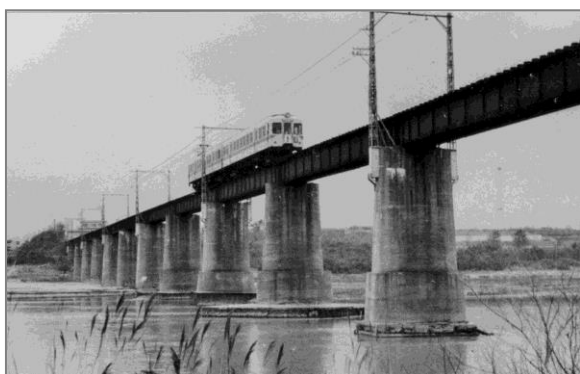
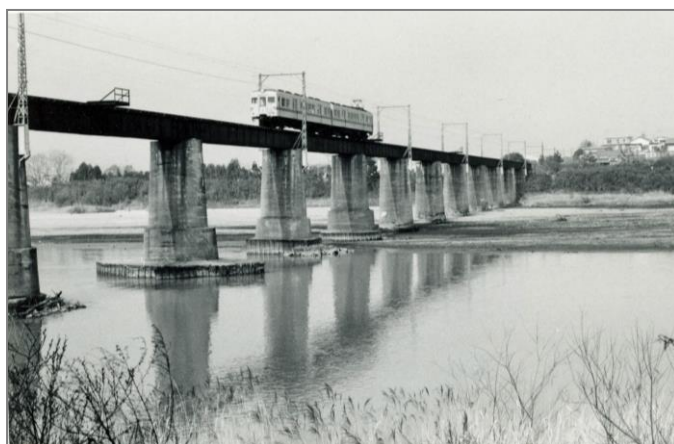


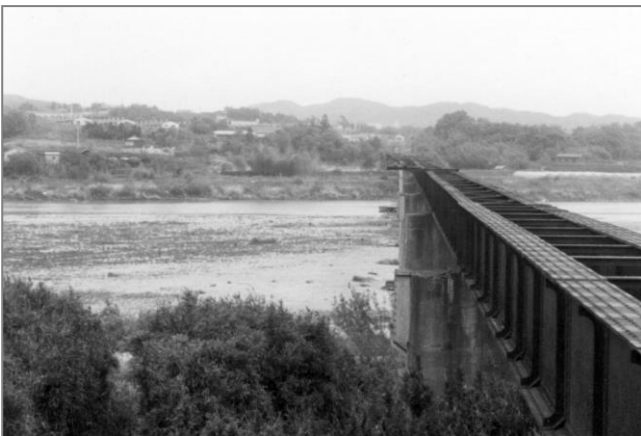


細川駅は開業時、門立線に「細川駅」があったため「上市場駅」で開業。門立線が廃止された10年後の昭和24年12月1日「細川駅」に駅名改称した。

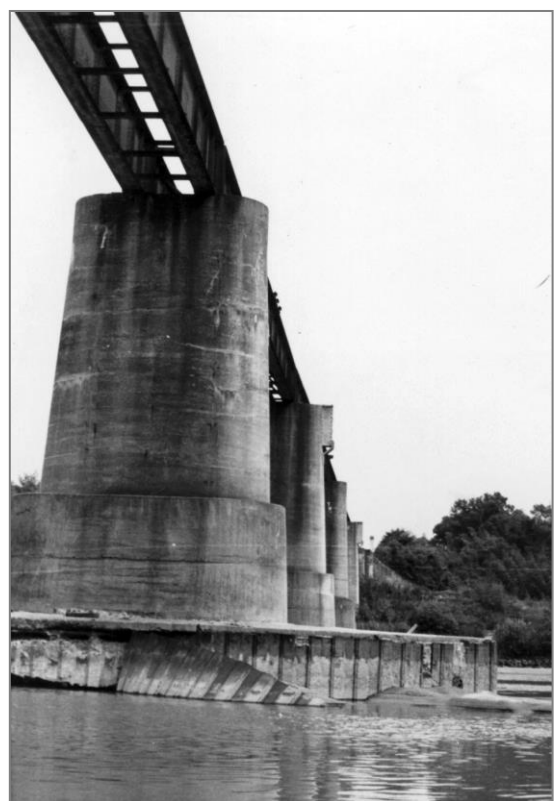


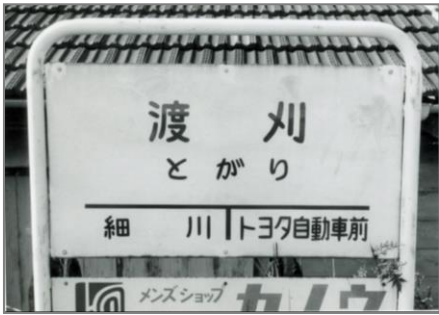
矢作川





右&下の矢作川橋脚は昭和 47 年 7 月の三河山間部の集中豪雨で痛手を受けた爪痕である。このため、挙母線は廃線まで、矢作川橋梁は 15km/h の制限を受け運転していた。





渡刈駅跡



平成 22 年 6 月 29 日

地元・渡刈町の好意で、残存していたホーム
を利用し、散策者の休憩所として、再整備され
た「渡刈駅跡」です。

ホーム下の線路跡は、カラー煉瓦で、レール
と枕木の模様をあしらい、粋な計らいが…。



渡刈～ トヨタ自動車前



岡多線(現・愛知環状鉄道線=通称・愛環)の建設現場…渡刈～トヨタ自動車前間





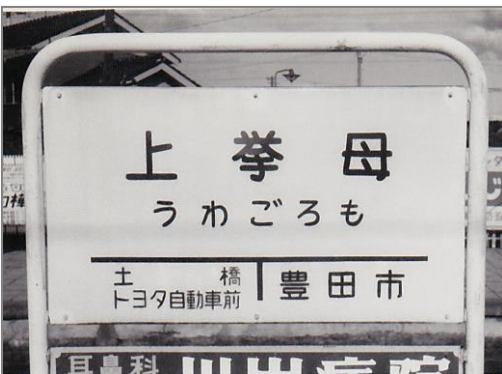
豊田(トヨタ)自動車は論地ヶ原に自動車工場を建設しようとしたとき、鴛鴨駅(昭和21年頃廃止)から引込線を工場まで敷設しようと考えていたが、三河鉄道の計らいで工場操業(13年11月)前の昭和12年12月27日 三河豊田駅開業。昭和34年10月1日、トヨタ自動車前に駅名改称。





トヨタ自動車前～上挙母

トヨタ工場への引込み線



昔・三河線

今・蒲郡線

昭和 23 年 5 月 16 日、路線名変更があり、三河線の“蒲郡～三河吉田”が蒲郡線に、“三河吉田～西中金”が三河線に分割変更された。

蒲郡

昭和 11 年 11 月 10 日開業



昭和 30 年代



昭和 47 年 4 月 1 日、蒲郡～塩見橋下間高架化。同 12 月 6 日 駅ビル開業。



昭和 61 年頃



連続立体工事中は JR の 5・6 番線を借用 (平成 10 年 10 月 31 日～12 年 11 月 10 日)



現・名鉄蒲郡駅…平成 22 年 12 月 15 日 (平成 12 年 11 月 11 日新駅舎完成)



蒲郡競艇場前

昭和 43 年 10 月 1 日開業(拾石と塩津が統合して誕生)



平成 12 年 11 月 11 日 塩見橋～蒲郡競艇場間高架化。(工事のため、JR 下り線を使用)



昭和 43 年 10 月 1 日開業 昭和 63 年 9 月 17 日…蒲郡競艇場前駅、吉良吉田方に 0.1km 移設

拾石駅跡 昭和 11 年 11 月 10 日開業
昭和 43 年 10 月 1 日 廃止



深溝断層により(三河地震…S13.1.13) 三河鹿島～拾石間で線路盛土が崩壊…という記録あり。
場所…三河鹿島～旧拾石間

三河鹿島



昭和 11 年 7 月 24 日開業



昭和 62 年 8 月 焼失

形原



三ヶ根山ロープウェー

昭和 11 年 7 月 24 日開業



昭和 63 年 9 月 1 日 新駅舎完成

※ 三ヶ根山ロープウェー…昭和 32 年 11 月 21 日開通 昭和 51 年 11 月 6 日廃止



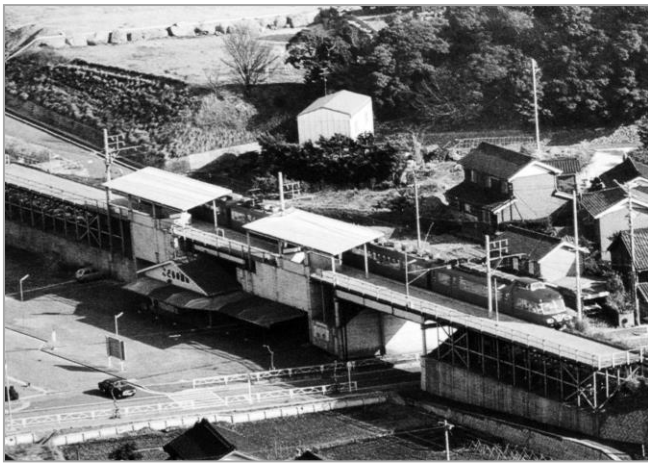
西浦

昭和 11 年 7 月 24 日開業



在りし日の西浦駅

※ 昭和 11 年 11 月 10 日、蒲郡まで開通。三河鳥羽～蒲郡間は当時全国的に流行していたガソリンカーと一部蒸気機関車を使用。この間を担当した乗務員は西浦に刈谷乗務区の分室があった。また、西浦には山側に車庫(工場)も…。



こどもの国



洲崎駅として、昭和 11 年 7 月 24 日 開業し
19 年休止。 27 年 10 月 1 日、0.4km 東幡
豆方に移設し復活。

昭和 49 年 10 月 10 日 旧位置に移設。昭和
51 年 10 月 10 日、こどもの国駅に駅名改称

旧洲崎駅



東幡豆

昭和 11 年 7 月 24 日開業



昭和 30 年代、駅から前島が見えた。(手前の前島を「うさぎ島」沖の沖島を「猿が島」という愛称名で呼んでいた…平成 9 年 11 月 30 日閉園)

沖島にニホンザルを放し飼い…昭和 32 年 5 月 18 日、前島にうさぎを放し飼い…昭和 33 年 9 月 21 日



昭和 34 年

西幡豆

昭和 11 年 7 月 24 日開業



平成 25 年 10 月 30 日



平成 25 年 12 月 21 日

三河鳥羽

昭和 4 年 8 月 11 日開業



昭和 30 年



宮崎口駅跡

昭和 4 年 8 月 11 日開業

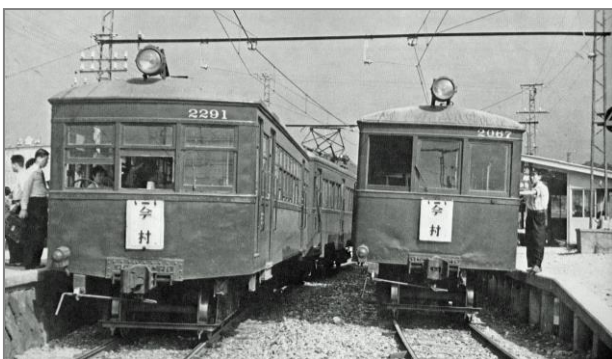
同 19 年休止

昭和 45 年 10 月 5 日廃止



三河鳥羽 7 号踏切の海側に駅が…。

吉良吉田



ガソリンカーを改造した T c 車…昭和 29 年 7 月





西尾線トランプス導入で、蒲郡線との直通運転
廃止…平成20年6月29日



旧・三河線着発線ホームは、平成20年6月29日
のダイヤ改正で蒲郡線の着発線ホームとなる。



名称列車復活運転…平成20年8月9日

ありがとう・パノラマカー三河湾^{ワン}DAY
…平成21年8月8日

ミュースカイ2000系西尾線に入線 DVD持参
者はカラー写真が…平成16年7月6日

